

土岐市とつながり 自分ものびてくワークショップ

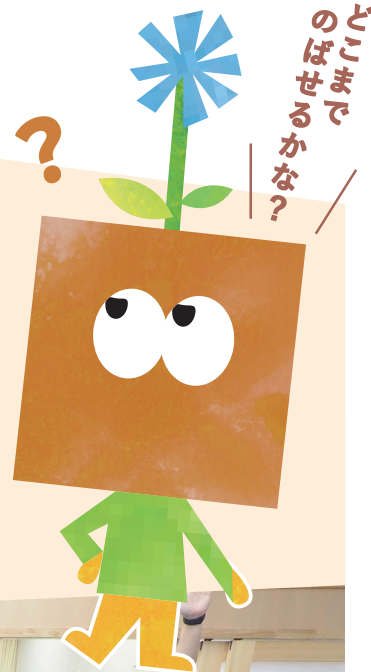
TOKI CITY 70th PROJECT NOVITA

のびた

第4回

2024
11/16 SAT
14:00~17:00

@土岐市教育支援センター IKOT (肥田) 参加者26名



**アイデアをぐ～んとのばそう！
チームワークを高め、ここから
具体的な活動がスタートします！**

第4回は、この秋に肥田地区にオープンした「IKOT」さんへ！天井高もあるのびのびとした空間も、個別の話し合いもできる落ち着いた空間もある会場で、お互いを知るワークに取り組んだり、各チームに分かれてじっくりそれぞれのアイデアを検討したりしました。

フォローアップミーティングも開催しました

第3回に参加できなかった人たちを対象に、オンラインでふりかえりと共有の機会を設けました。



今日の会場について

教育支援センター「IKOT・いこっと」



子どもたちが安心して過ごせるようにと土岐市が2024年10月にオープンした多機能型教育支援センター。さまざまな支援機能を集約し、園、小・中学校、市、こども家庭センターなどの関係機関の連携を強化し子どもたちの個性や特性に応じたサポートを実現。愛称のIKOTには、「教育や家庭生活の悩みがあれば気軽に相談に来てほしい」という思いが込められている。さらに、日本語が話せない外国人の子どもたちの支援機能も有している。

今回のプログラム！

1

はじめに / のび体操っ！

今回はのび体操は。「さーとー」さんの。のび～る体操だけでなく、童謡「うさぎとかめ」を歌いながら左右別々に手を動かす体操も！ちぐはぐな自分たちの動きに笑いも多く起こりました。



2

IKOT さんのお話を聴こう

続いて、本日の会場である土岐市教育支援センター「IKOT（いこっと）」について、施設長の保母さんから話を伺いました。IKOT には、①不登校支援機能 ②教育相談・検査・家庭児童相談機能 ③外国人児童・生徒支援機能 の3つのサポートがあり、それぞれに専門職員の方もいらっしゃるそうです。



3 風船列車で チームワークを高めよう！

これからチームに分かれての活動が始まることもあり、お互いを知るためのゲームとして風船列車に取り組みました。1列になり前の人とのあいだに風船をはさみます。それを落とさずに早く進めるよう、順番や掛け声など作戦を練って競い合うゲームです。ゲームを通じてお互いの性格や役割が見えてきます。



No

4

「アイデアをぐ～んとのぼそう」

前回生まれた4つのチームに分かれてそれぞれのアイデアをのぼしていきます！

A ミュージカルで土岐をつなごう！！



話し合いの内容（一部）

土岐市は、泉西小で毎年ミュージカルをしていたり、少年少女合唱団があったりと、「歌う」ことになじみのあるまち。そんな土岐市でこのチームが目指したいのは、音楽のパワーで土岐市に関わる全世代のヒトたちを幸せにする「ココロトキメクミュージカル」の実現。楽しさ、嬉しさ、ワクワクだけでなく、次に参加したいという気持ちや仲間づくりにもつながるミュージカルでありたい。また関わる人自身の成長（のびしろ）にもつながるものでありたい。土岐市から外に出ていない人や、現場に来るのが難しい人も参加できるよう映像参加などのアイデアも検討したい。

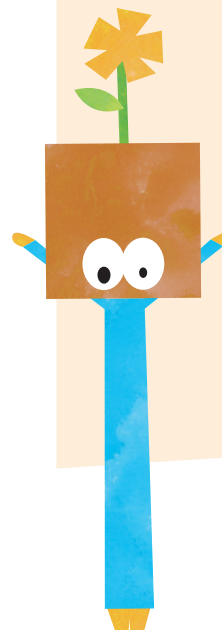
V

B 過去、現在、未来の土岐をつなごう！！



話し合いの内容（一部）

「やってきたことの復活」をテーマに、過去と今と未来をつなぐイベントを考えている。ただ、以前のイベントや活動をそのままを復活させるのではなく、身の丈に合ったイベントにリサイズして実施したい。実施したいと思う活動は、「あかりの夕べ」と「(駅前) 盆踊り」。イベント実施時には、合わせてナイトマーケットなどもできたらいい。盆踊りもイベント開催時の1つのコーナーとしてであれば実施できるのではないかな。過去と現在をつなぐため、各地区にいらっしゃる達人の方から昔のお話をお聞きしたり、現在踊りをしている団体の方との協働もしていきたい。



C-1 たのC！で土岐をつなごう！

TA



話し合いの内容（一部）

『子どもたち』『夢』『土岐愛』をキーワードに、まちを愛する姿、楽しんでいる姿、そんな大人の姿を子どもたちに見せることで、子どもたちにも夢をもって土岐を大切に想う心を育ててもらいたい、という気持ちを大切にしたい。そこで、未来の土岐市を担う子どもたちを対象にした『やってみよう！マルシェ』を開催したいと考えている。まだマルシェの具体的な内容については決まっていないが、モノではなく、活動が集まったマルシェのようなものをイメージしている。お金ではなく、「ありがとう」が循環していくような形はないか。ありがとうがいっぱいな新しいつながりが生まれると嬉しい。

C-2 おいC！で土岐をつなごう！



話し合いの内容（一部）

「土岐市の新しい名物をつくろう」という思いを持って話し合いを進める中で、「土岐市の学校給食はおいしい」という意見が出てきた。現役世代からのこうした声を後押しに、70周年では「給食」をテーマとした活動を展開していくことに。給食は、土岐市の中で「過去から受け継がれてきたもの」でもあり、70年前の給食はどんなものだったのかを調べたり、各世代で給食トークをしたり、世代を超えて楽しむことをしていきたい。また、「みんなでつくる・みんなで食べる」ことも大切に、他のまちにはないC級(=コミュニケーション、コミュニティ)グルメになってほしいという願いのもと、多世代が集い、つくり、話し、楽しめる場もつくってきたい。



ピザもみんなで
つくって食べられる
のがいいよね

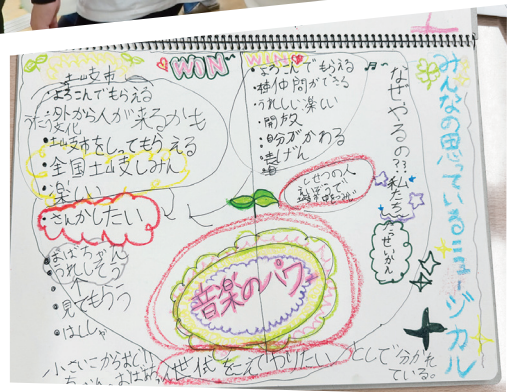
5

思いの共有タイム

各チームから、これからの活動について現在のアイデアを話してもらいました。



のびしろ PHOTO



班で楽しい話し合いができました。
新しいお仲間もお誘いできてうれしい♪
1回限りでないというところ、
皆さんの意見が同じでよかったです。
風船はふくらまなかったけど夢ふくらみ中。
おやつリーダーがんばりまっす

他のグループの活動もすごくよかったので、
他のグループともいろいろつながりつつ、
楽しんでいけるといいかなと思いました！

今日は2回目のAチームでさらに
みなさんの個性や思いを探ることができつつ、
自分だけでは思いつかないようなことを
たくさん教えてもらえてたのしかッタネ！！

おいCチームの方向がだいぶ
決まってきて楽しになった。
給食のことも話せて懐かしく感じた。
給食の良さを広げていきたい！

コロッケからの、新発見！
新しい方向性が見えてきた。

グループの皆と意見を自由に
出し合うことができて、
話もどんどん広がってたのしかったです！
風船列車ゲームもたのしかったです！

それぞれの得意なことを知って、
みんなで活かしあっていきたいです。

参加者の のびしろVOICE

ミュージカル初体験ですが、
自分も楽しめる企画を
みんなで一緒に作り上げて
いける気がしてきました。

試食会を
やってみよう！

今日ものびしろ確認！
楽しかったです

運営メンバーよりコメント

チームにはいろんな役割の人が必要です。例えば、連絡をして
くれる人や、お菓子を持ってきてくれる人、雰囲気を和ませて
くれる人など。今日は風船列車というゲームでしたが、活動や
ゲームを通じて自身の役割だったりチームののびしろが見えて
くるとより楽しくなってくると思います。

